

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		受付	番号 15
			令和 7 年 2 月 5 日
			午後 1 時 37 分
議会名	令和 7 年 第 2 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 19 番 小暮 博志		
答弁を求める者 (選択してください)	☒ 市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ ☒ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) ☒ なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 地球温暖化対策について (1) 第5次佐野市役所地球温暖化対策実行計画	① 市関係施設での業務分野 (電気及び燃料の使用) の温室効果ガス削減率は、2013 年度比で 2025 年度に 30%削減に対して、現時点での削減率がどの様になっているのか。 ② 業務分野 (電気及び燃料の使用) の温室効果ガス削減率において、2013 年度比で 2025 年度に 30%削減するための考えについて伺う。 ③ 業務分野 (電気及び燃料の使用) の温室効果ガス削減率において、2013 年度比で 2030 年度に 50%削減の考えについて伺う。 ④ 市関係施設での交通分野 (燃料の使用と自動車の走行を考えた量) の温室効果ガス削減率は、2013 年度比で 2025 年に 30%削減に対して、現時点での削減率がどの様になっているのか。 ⑤ 交通分野 (燃料の使用と自動車の走行を考えた量) の温室効果ガス削減率において、2030 年度に 50%削減する考えについて伺う。		

(2) 第 2 次一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（改訂版）	① 2025 年度の一般廃棄物（ごみ）総排出量を、基準年（2016 年度）の 14.9%削減にしていますが、現時点での削減率がどの様になっているのか。 ② 栃木県内 25 市町の一般廃棄物の排出量で、1 人 1 日当たりのごみ排出量が佐野市より 75%以下と少ない所が 5 町や再生利用率が 2 倍以上と大きい所が 3 町あるが、見解を伺う。 ③ 2029 年度の一般廃棄物（ごみ）総排出量を、基準年（2016 年度）の 20.8%削減にしているが、今後の削減に向けた取組について伺う。
(3) ゼロカーボンシティさの実現に向けた取組について	① 2024 年度をみますと、補助金のメニューが各種ありに CO₂ の排出量を見ながら採用していると思いますが、どの様に決めているのか伺う。 （省エネ家電購入支援事業、次世代自動車導入促進事業、ネット・エネルギー・ハウス化支援事業） ② 市民向けの補助金で、要望需要の多かった補助金、そうで無い補助金に差はあったのか伺う。 ③ 予算規模の大きい、公共施設 LED 照明整備事業の各種効果について伺う。 ④ ゼロカーボンシティさの実現に向けて、広報活動や学校教育を通じてカーボンニュートラルの取組を知ってもらうことが必要と思われる。また、補助金等の申請件数の増加が予想される。そこで、市ホームページに補助金等の活用周知を含むゼロカーボンシティ実現に向けた専用ページを開設する計画はあるか伺う。